

2020 年度事業ならびに活動計画

特定非営利活動法人 安全工学会

定款第 3 条（目的）

この法人は、主として産業に関わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図るため、特に、安全及び安全教育にかかわる議論を活発に行い、安全工学の普及活動に注力する。

1. 事業活動方針

2020 年度は、これまでの様々な会議体で得られた 6 つの要点（教育、継続的ビジョンの見直し&設定（システム）、研究会企画、防災と安全工学、化学プロセス安全、学会収支（即ち社会貢献））に対する、2019 年度の萌芽を受け、この育成に努め、さらなる育成を促す。

2018 年度に掲げた、以下、4 つの目標のうち、

- ・ AI、IoT における事故
- ・ 変化する天災対応と予測
- ・ ますます複雑化する人間行動
- ・ 企業における安全のプロ、リーダーの育成と役割向上（CSO の提唱）

「変化する天災対応と予測」は、新たに発足（萌芽）した「産業防災研究会」の Vision と Mission に組み込まれた。他の三つの目標も整理、調整などののち、研究会などの場で検討を進めて行く。

具体的には、『教育』については、企画委員会で検討を進め、枠組みの提案を学術委員会に提示した。2020 年度は、学術委員会で具体化に向け検討を進める。

『学会の Vision の見直し&設定の仕組み』については、理事会に加え、企画委員会を介して提言を行う若手学会員を核とした将来構想研究会が発足し、昨年度の研究発表会で WS を開催するなどの活動を開始した。2020 年度は若手メンバーの研鑽、情報交換の場として活動を定着し、具体的な問題提起や提言の発信を目指す。

『研究会・研究部会の企画』については、企画委員会で産業防災研究会を企画発足しその運営を学術委員会に委ねた。また企画委員会でプロセス安全管理手法研究会の企画に取り組んだ。2020 年度はプロセス安全管理手法研究会の企画を取りまとめ運営を開始し、更に新たな企画の

検討（AI・IoT・Big data、人間行動（工学）、CSO、リスクコミュニケーション、労災など）を試みる。

『防災と安全工学』については、前記のように産業防災研究会を立ち上げた。2020年度は同研究会の活動を軸に Vision と Mission を明確にして提案を発信してゆく。

『化学プロセス安全』については、企画中のプロセス安全管理手法研究会を軸に検討を進め、Vision と Mission を明確にしてプロセス安全管理手法の提案を発信してゆく。

さらに 2017 年の CCPS の GSPS の開催を機に、2018 年岡山、2019 年四日市と開催してきたプロセス安全シンポジウムを、2020 年度も継続して開催することを目指す。現場の実際の安全について情報を交換し相互に啓発し研鑽を積む貴重な場を、継続して提供する。併せて、学の間から俯瞰して、これを大系化することを模索する。

『学会収支（社会貢献の指標）』については、総務委員会を軸に、消費税の 10% 化を踏まえて、学会の会費の適正化を検討してきた。2020 年度はこの結果を発信してゆく。

また、周辺学協会との連携に努め、講演会、セミナー、講習会などの集客を図り、昨年度は一昨年度に比べ参加者数の向上がみられた（27% 増）。2020 年度は連携の強化と定着化に務める。

2019 年度は、奨励賞を改定し、研究発表会での発表技術を表彰する優秀・学生講演賞と、学術技術賞とを創設した（奨励賞は廃止）。主に若手及び中堅の会員を適切な形で顕彰することを目指した。2020 年度も継承し定着に務める。

学会の普及啓発活動については、年間のスケジュールに従い、進めている。2020 年度も例年通りの活動をもととするが、状況に応じた微修正を適切に加えていく。開催の情宣、PR 活動については、これまでも周辺学協会や工業協会との連携を図っているが、一歩進んで、他学会との共同企画の推進なども、横串学会の真価を発揮すべく、模索してゆく。

安全工学会誌の論文発表は、会員の研究成果の発表の場として、また学会からの知識・情報の発信の場として、重要な役割を果たしている。2020 年度は、研究会などの成果を積極的に発信する。一方、「安全工学」を軸に、非常に幅広い分野の論文を受け入れており、この点は稀有な存在といえ、英文での執筆、投稿を促して行く（2019 年の英文投稿は 1 件に留まる）。

2. 事業内容 特定非営利活動に係る事業

2. 1 安全工学に関する研究・教育事業

① 安全工学に関する研究

学術委員会を中心に安全及び安全教育に関し検討を進め、普及、啓発活動に注力する。研究会活動の活性化（医療安全研究会、産業防災研究会など）、再構築に努力する。

② 安全工学シンポジウム 2020（⇒COVID-19に配慮し1年延期）

安全工学を軸とした、横断的な研究発表会への参加（PD：「外部要因に拠る事故・災害に就いて」、OS：「リスクへのセンス向上手段の開発と普及」、「組織行動からの事故・不祥事などの未然防止アプローチ」、他）。

開催月日：2020年7月1日（水）～3日（金）

開催場所：日本学術会議

参加予定者：550名

主催：日本学術会議

幹事学会：一社）電気学会

共催：安全工学会ほか34学協会（予定）

③ 安全工学研究発表会（第53回）

安全工学会を軸とした、安全工学研究成果の発表会を主催する。

開催月日：2020年12月3日（木）～4日（金）

開催場所：エブノ泉の森ホール（大阪府泉佐野市）

参加予定者：200名

④ 研究・教育事業管理

対象委員会・研究会

学術委員会 3-4回

安全工学研究発表実行委員会 1-2回

医療安全研究会 6回

産業防災研究会 4～6回

新規研究会の立ち上げ

2. 2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

(1) 会誌“安全工学”

① 発行 印刷物の発行 年6回

② 電子化推進

J-stageの公開 2016年6月発行分～実施済み、逐次更新

J-stage 公開の推進（過去の掲載については作業終了）

(2) 講習会・セミナー

① 第 42 回安全工学セミナー

物質危険性講座 2020 年 09 月 初旬
危険現象講座 2020 年 10 月 初旬
プラント安全講座 2020 年 11 月 中旬
安全マネジメント講座 2021 年 01 月 下旬
実施予定場所 機械振興会館会議室他（化学会館は改装中）
参加募集人員 各回 30 人（予定）

② 第 20、21 回安全工学地域セミナー

開催月日 2020 年秋、冬検討中
実施予定場所 検討中
参加募集人員 30 人

③ 第 34 回安全管理の最新動向講習会

開催月日 2020 年 07 月検討中
実施予定場所 機械振興会館会議室他（化学会館は改装中）
参加募集人員 30 人

④ 第 19 回安全工学実験講座（⇒COVID-19 に配慮し中止）

開催月日 1 回 2020 年 6 月中旬検討中
実施予定場所 日本カーリット（株）
参加募集人員 20 人

⑤ 災害事例研究会

開催月日 2 回 2020 年秋、冬検討中
実施予定場所 機械振興会館会議室他（化学会館は改装中）
参加予定人員 各回 60 人

⑥ 地域・企業支援セミナー

日本全国の地域・企業への講師の派遣 2～4 件程度

⑦ 安全教育セミナー

安全教育担当向けセミナーの継続開催の推進
開催 月日： 2021 年 2 月下旬予定
開催 場所：三井化学株式会社 茂原分工場
参加予定者：20 人

⑧ 普及啓発事業管理

- ・対象委員会・研究会等
- 編集委員会 12 回
- 普及委員会 4 回
- ・会誌への広告募集管理

(3) 図書販売・会誌の年間購読販売

法人事務所にて図書販売等を実施する。安全工学便覧第 4 版の販促。

2.2.2 普及啓発事業：受託事業

経済産業省の新規事業に注目し、受託事業管理委員会管理下、対応可否を検討する（適宜）。

2.3 安全工学に関する調査及び情報収集提供事業

ホームページを充実させ、会員への情報提供を推進する他、意見交換システムの検討を行う。また、非会員へのPRを推進する。

2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰

学会賞授与 安全工学に貢献した学術業績、優秀論文、功労者を表彰する。

対象：安全工学論文賞（2件以内）、玉置功労賞（2名以内）、北川学術賞（2名以内）、優秀・学生講演賞（2名以内／研究発表会での決定・表彰）、学術技術賞（2名以内）。

2.5 安全工学に関連する国内外の団体との連携及び協力

安全工学に関連する学協会に加入し、情報を得ると共に安全工学の発展のために協業を模索する。国際的には、APASES（Asia Pacific Association of Safety Engineering Societies, アジア太平洋安全工学学協会連合）に参加（継続）、APSS、CCPS、ICSIなどとの情報交換を継続、発展させる。

① 諸会費

（社）日本工学会、高圧ガス保安協会、防災学術連携体などに会員として加入（継続）

② 安全工学シンポジウム 2020 他

③ 防災学術連携体、日本化学連合（オブザーバー）への参加を継続し、接点を模索する。

④ 化学工学会、石油化学工業会、日本化学工業協会、化成品工業会、などの周辺学協会との連携を深める。

2.6 管理業務

① 総会 1回開催

開催月日：2020年5月29日（金）

開催場所：品川文化事業団 きゅりあん（JR大井町）

② 理事会 4回開催（COVID-19に配慮してメール回議開催）

開催月日：2020年4月24日（金）

2020年7月、11月、2021年3月（調整中）

③ 評議員会 1回開催

開催月日：2020年4月調整中

④ 監事会 1回開催

開催月日：2020年4月23日（木）

⑤ 委員会

総務委員会 必要に応じて開催

企画委員会 4回開催

アドバイザーボード 1回開催

⑥ 現場研修会 2回開催

開催日：2021年4～9月、2020年3月予定

見学先：調整中

参加予定人員：安全工学会の会員 各回20～30名

その他未定

以上